

ベトナム事業環境



B&Company

B&Company Vietnam Co., Ltd.

2020年1月

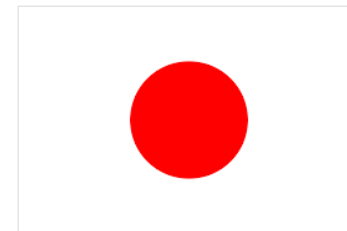
1. 経済概況：経済指標

2018年時点で、ベトナムは6.8%という高いGDP成長率の下、堅調な経済発展が進んでいる

ベトナム



日本

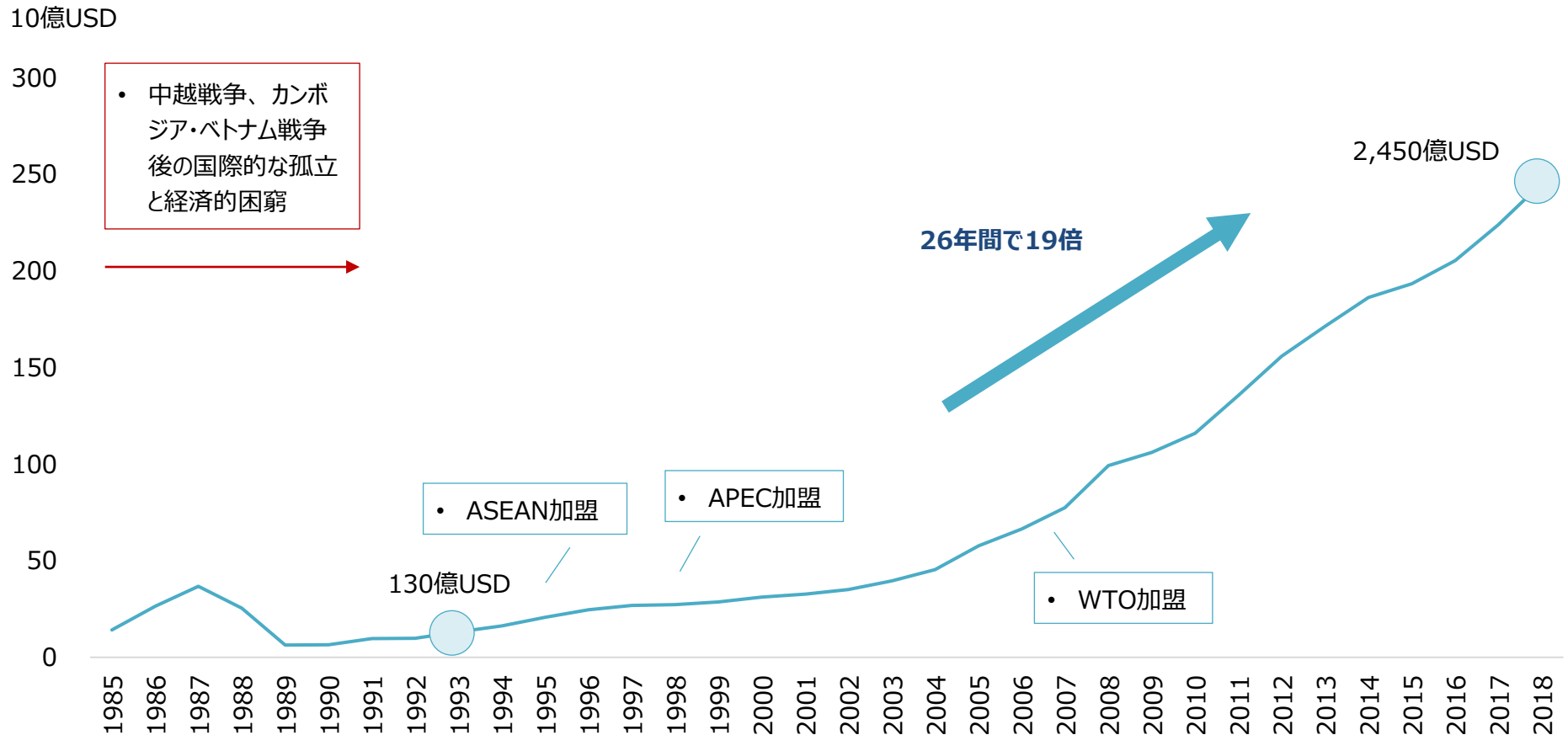


人口	9,700万人 (平均年齢：30.5歳) ※2大都市：約1,600万人	12,800万人 (平均年齢：47.3歳)
GDP成長率	6.8%	1.7%
1人当たりGDP	USD 2,342 ※ハノイ約4,000USD、ホーチミン約6,500USD	38,220USD
スマートフォン普及率	38% ※都市部の成人ほとんどが所有	55%

1. 経済概況：急激な経済成長

1993年から26年間で、**GDP総額は19倍**（130億→2,450億USD）、1人当たりGDPは14倍（182→2,567USD）

名目GDP（1985～2018）

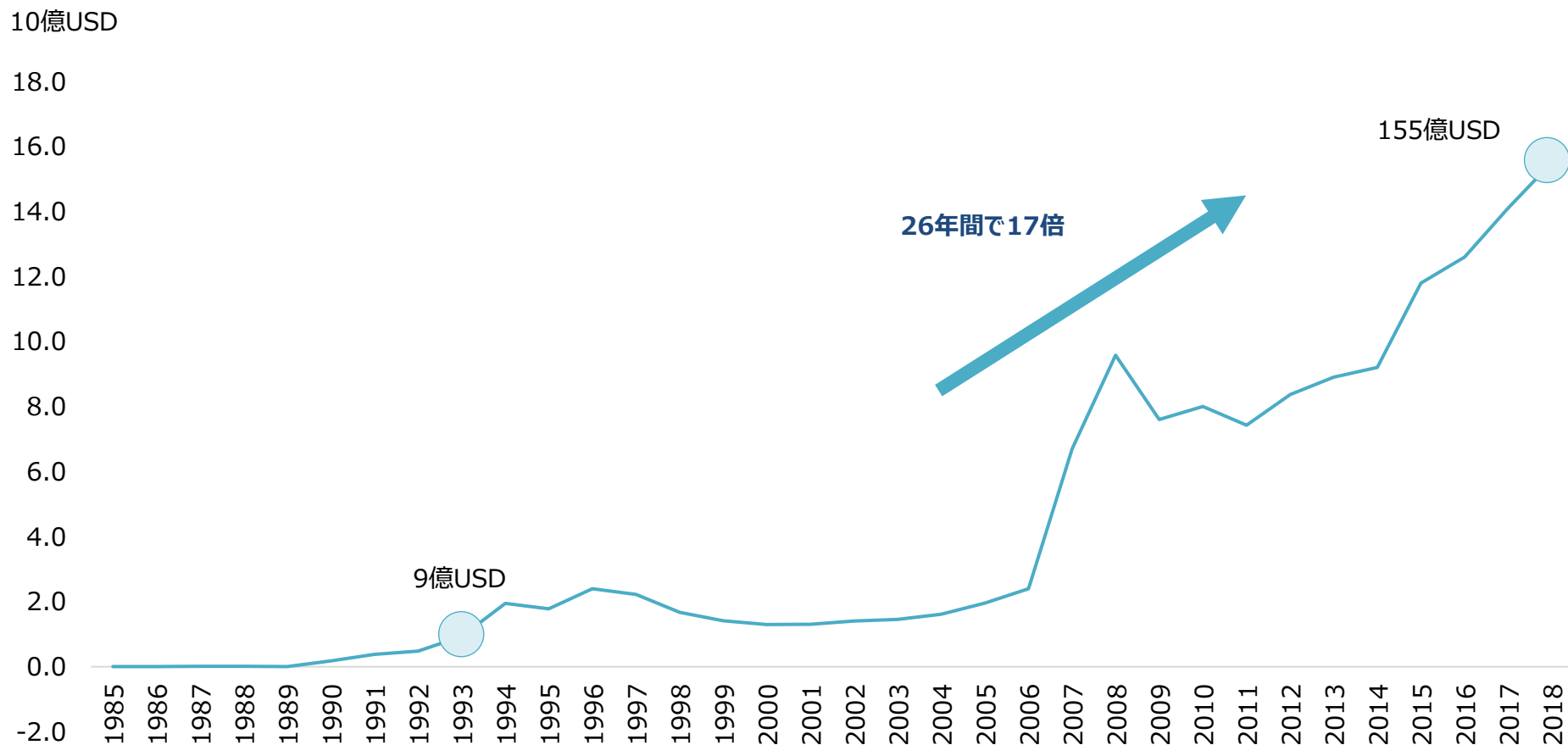


資料：世界銀行

1. 経済概況：経済成長の背景・課題

急成長の大きな要因はFDI。その一方で、基盤産業が存在せず、急成長に追いついていないインフラ整備が課題

FDI（直接外国投資：Net Inflows）



資料：世界銀行

1. 経済概況：更なる経済成長に向けて

更なる経済成長に向け、ベトナム政府は政府目標達成のエンジンを民間企業にあるとし、民間企業の行動を期待している

<p>持続的成長に向けた 4つの解決施策</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. マクロ環境の維持、社会政治の安定化 2. 持続可能なインフラ開発へ向けた優先投資 3. 法律、法律機関の質向上 4. イノベーションに向けたエコシステムの開発
<p>民間企業に求める 3つのCSR</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Economic：利益目標、ステークホルダーのバランスを取る 2. Legal：法的責任を真摯に遂行する 3. Ethical：ビジネスにおいて、道徳的観点を持つ



副首相
Trinh Dinh Dung

2. 政治概況：共産党・政治局員リスト

共産党の一党独裁体制。5年ごとに閣僚、政治局員が変わり、現在は**第12期（2016～2021年）**

1 (北・ハノイ)  書記長/国家主席 Nguyen Phu Trong グエン・フー・チョン (75)	2 (中・クアンナム)  首相 Nguyen Xuan Phuc グエン・スアン・フック (65)	3 (南・ベンチャー)  国会議長 Nguyen Thi Kim Ngan グエン・ティ・キム・ガン (65)	4 (北・タイン)  党書記局常務 Tran Quoc Vuong チャン・クオック・ブオン (66)	5 (中・タインホア)  中央人事委員会委員長 Pham Minh Chinh ファム・ミン・チン (61)	6 (南・ビンロン)  党中央宣伝教育委員長 Vo Van Thuong ボ・バン・テュオン (49)	7 (中・クアンビン)  国会社会問題委員会委員長 Truong Thi Mai チュオン・ティ・マイ (61)
8 (北・フーター)  中央経済委員会委員長 Nguyen Van Binh グエン・バン・ビン (58)	9 (北・ソラ)  国会副議長 Tong Thi Phong トン・ティー・フォン (65)	10 (南・ロンアン)  副首相 Truong Hoa Binh チュオン・ホア・ビン (64)	11 (北・ナムディン)  副首相兼外相 Pham Binh Minh ファム・ビン・ミン (60)	12 (中・ゲアン)  副首相 Vuong Dinh Hue ブオン・ディン・フエ (62)	13 (北・ハーナム)  国防大臣 Ngo Xuan Lich ゴー・スアン・リック (65)	14 (北・フーイエン)  公安大臣 To Lam ト・ラム (62)
15 (北・タイン)  ハノイ市党書記 Hoang Trung Hai ホアン・チュン・ハイ (60)	16 (南・チャビン)  ホーチミン市党書記 Nguyen Thien Nhan グエン・ティエン・ニャン (66)	17 (北)  健康上理由で休職中 Dinh The Huynh ディン・テー・フィン (66)	<p>再任</p> <p>新任</p> <ul style="list-style-type: none"> 北部：9名 中部：4名 南部：4名 平均年齢：62.9歳 <ul style="list-style-type: none"> グエン・フー・チョンは、2018年10月23日付で国家主席に就任 2017年5月当時、ホーチミン市党書記ディン・ラ・タン (56) に対して、戒告処分と共に、政治局員の解任が決定 2009～2011年の国営ベトナム石油ガスグループ（ペトロベトナム）党委員会書記と同社会長在任時における法令違反の責任を問われた 			

2. 政治概況：内閣・閣僚リスト

 <p>首相 Nguyen Xuan Phuc グエン・スアン・フック (65)</p>	中	 <p>副首相 Truong Hoa Binh チュオン・ホア・ビン (64)</p>	南	 <p>副首相 Trinh Dinh Dung チン・ディン・ズン (63)</p>	北	 <p>副首相 Vu Duc Dam ブー・ドク・ダム (56)</p>	北	 <p>副首相 Vuong Dinh Hue ブオン・ディン・フエ (62)</p>	中	 <p>副首相 (兼外相) Pham Binh Minh ファム・ビン・ミン (60)</p>	北	<ul style="list-style-type: none"> 北部：13名 中部：10名 南部：4名 平均年齢：58.5歳 	
 <p>商工相 Tran Tuan Anh チャン・トゥアン・アイン (55)</p>	中	 <p>科学技術相 Chu Ngoc Anh チュー・ゴク・アン (54)</p>	北	 <p>少数民族委員会 Do Van Chien ド・バン・チエン (57)</p>	北	 <p>労働・傷病軍人・社会事業相 Dao Ngoc Dung ダオ・ゴク・ズン (57)</p>	北	 <p>官房長官 Mai Tien Dung マイ・ティエン・ズン (60)</p>	北	 <p>計画投資相 Nguyen Chi Dung グエン・チ・ズン (59)</p>	中	 <p>財務相 Dinh Tien Dung ディン・ティエン・ズン (58)</p>	北
 <p>建設相 Pham Hong Ha ファム・ホン・ハ (61)</p>	北	 <p>天然資源・環境相 Tran Hong Ha チャン・ホン・ハ (56)</p>	中	 <p>国家銀行総裁 Le Minh Hung レ・ミン・フン (49)</p>	中	 <p>公安大臣 To Lam ト・ラム (62)</p>	北	 <p>国防相 Ngo Xuan Lich ゴ・スアン・リック (65)</p>	北	 <p>法相 Le Thanh Long レ・タイン・ロン (56)</p>	中	 <p>運輸相 Nguyen Van The グエン・バン・テ (53)</p>	南
 <p>教育・訓練相 Phung Xuan Nha フン・スアン・ニャ (56)</p>	北	 <p>農業・地方開発相 Nguyen Xuan Cuong グエン・スアン・クオン (60)</p>	北	 <p>監察院長 Le Minh Khai ル・ミン・カイ (55)</p>	南	 <p>内相 Le Vinh Tan レ・ビン・タン (61)</p>	南	 <p>観光相 Nguyen Ngoc Thien グエン・ゴク・ティエン (60)</p>	中	 <p>保健相 Nguyen Thi Kim Tien グエン・ティ・キム・ティエン (60)</p>	中	 <p>情報通信相 Nguyen Manh Hung グエン・マン・フン (57)</p>	中

再任 新任

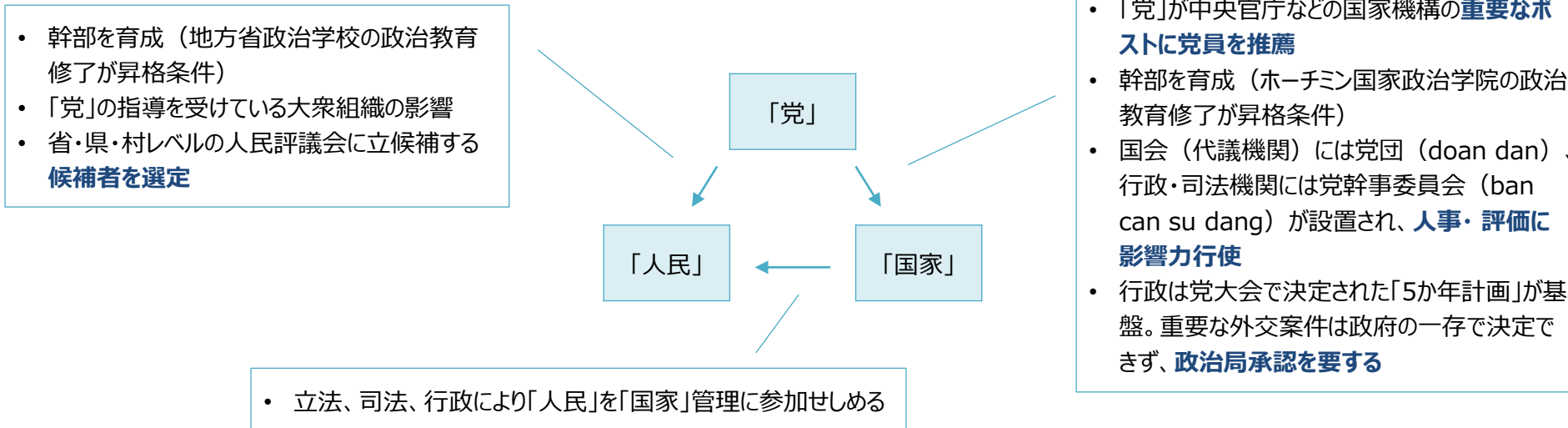
2. 政治概況：党・人民・国家の関係

憲法前文には「**党が指導し、人民が主権者であり、国家が管理する**」と明記。運用によって、党の意思が国家や人民に反映

党・人民・国家の具体的な枠組み

「党」が指導	「党」は、「国家」・社会の管理、運営に関する基本的指針、方向性を決定
「国家」が管理	「国家」= 立法、司法、行政。「人民」が「国家」管理に参加するべく、国会が立法化を行い、「国家」が「人民」に対して法律を執行
「人民」が主権者	国会、人民評議会を通して権力を行使し、「国家」管理に参加

以下の運用により、「党」の意思を「人民」・「国家」に反映する



2. 政治概況：共産党

全国代表大会（党大会）：約1,500名、5年ごとに開催

「共産党の最高指導機関」

- 次期党大会期の路線、政策の決定
- 党中央委員の選出
- 5か年計画の決定

中央執行委員会（中央委員会）：委員約200名、年2回以上開催

「共産党の指導機関」

- 党書記長、政治局員、書記局員を選出
（党大会と平行し、党大会で選ばれた委員が第1回総会で3役を選出）
- 党大会で採択された政治綱領、党条例を組織、指導、国内・対外問題に関する基本的な方針を決定

書記局：10名（書記長含む）

「党の日常的指導、活動調整」

- 党幹部に関する人事の決定

政治局：17名（書記長含む）

「政策、人事を決定」

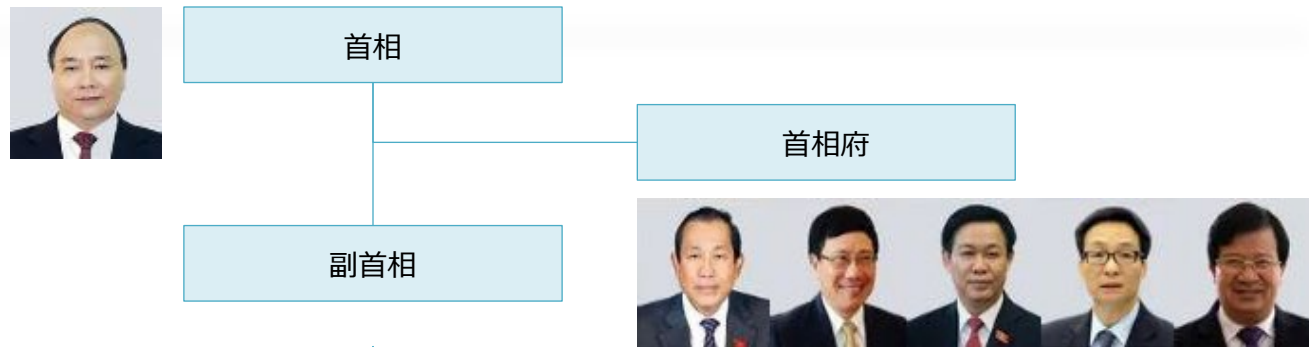
- 中央委員会の招集
- 中央委員会に提出する課題の準備
→**実質的な党の政策、方針、人事の決定**

中央監査委員会：21名（書記長含む）

「政策、人事を決定」

- 中央委員会の招集
- 中央委員会に提出する課題の準備

2. 政治概況：中央政府

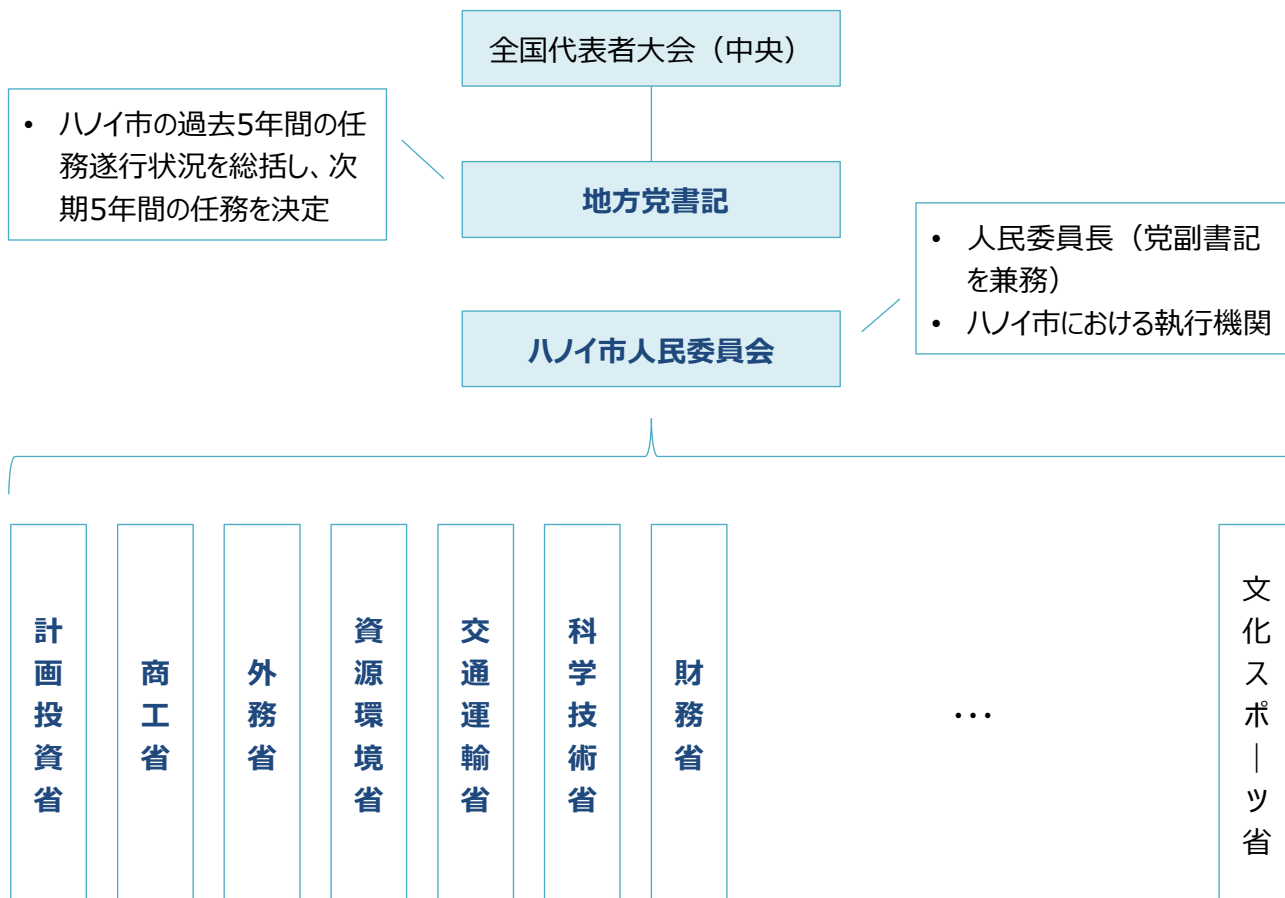


2. 政治概況：地方政府

63の省・中央直轄市、その下の県、郡、村に共産党部大会、人民委員会が夫々存在



ハノイの場合



3. 地方経済：北部・中部・南部の特徴



北部



- 質実剛健、儉約家、家族主義、反中意識
- 料理の味はまるやか（北部がフォーの起源）
- 標準語（ハノイ弁）

中部



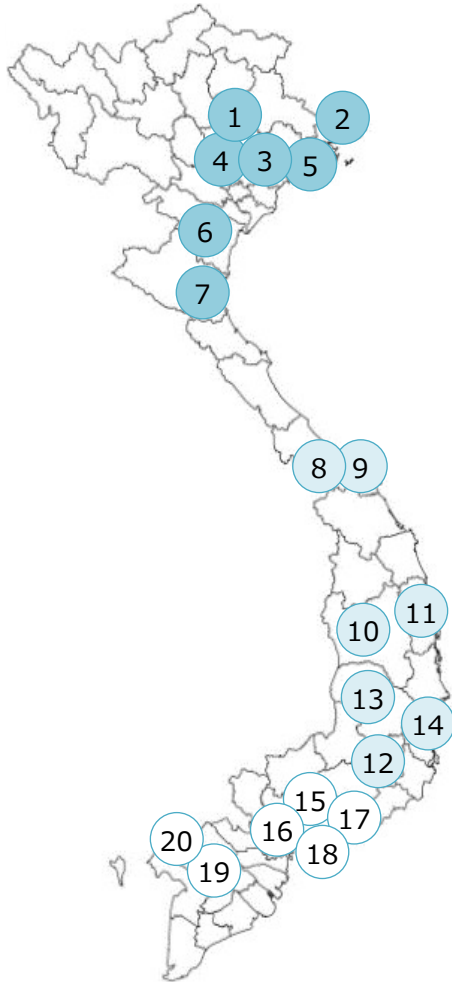
- 最も気候が過酷、刻苦勤勉
- 最貧からの脱出に対する一体感（成功への渴望）
- 相手に応じて自分を変えられる（フレキシビリティ）
- 料理の味は最も辛い（多様な調味料、唐辛子を多用）
- フエ料理だけで1,000種類（全国2,600種類）
- 中部弁は最も訛りがある

南部



- 大らかで豊か、宵越しの銭は持たない主義
- 資本主義への回顧（ベトナム戦争前の記憶）
- 料理の味は最も甘い（野菜、果物、淡水魚を多用）
- 方言は、日本で言うところの関西弁（語感が柔らかい）

3. 地方経済 : 北3.5 : 中央1.5 : 南5

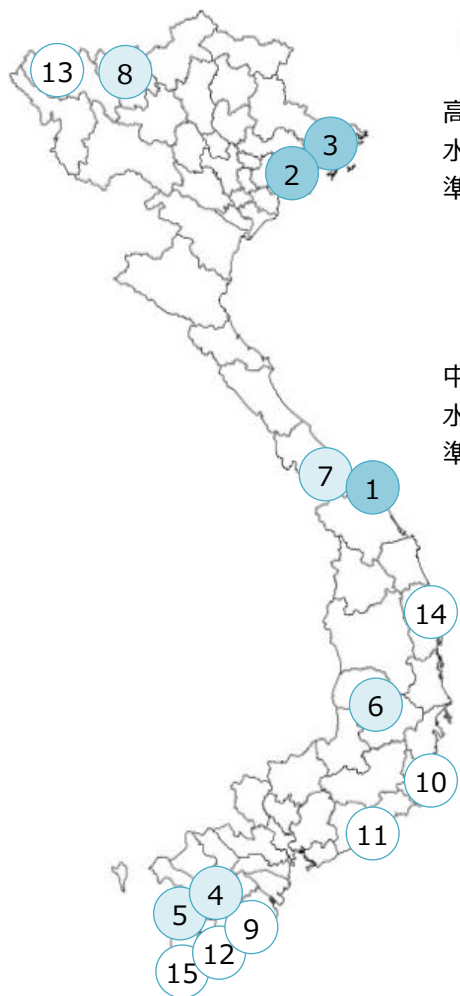


No	省	人口 (千人)	平均所得 (USD/人)	GRDP pc (USD/人)	FDI総額 (mUSD)
1	タイグエン	421	1,623	2,860	7,260
2	クアンニン	750	1,978	3,500	5,976
3	ハイズオン	450	1,668	N/A	7,450
4	ハノイ	3,930*	3,120	3,790	25,748
5	ハイフォン	926*	2,458	2,497	14,464
6	タインホア	602	1,093	1,540	10,643
7	ビン	467	794	1,420	1,670
北部小計		7,546	2,449	3,190	73,211
8	フエ	560	1,262	2,100	2,377
9	ダナン	915*	2,382	3,578	4,398
10	プレイク	424	760	N/A	12
11	クイニョン	474	1,103	2,100	541
12	ダラット	457	796	1,800	135
13	バンメトート	546	1,633	2,310	966
14	ニャチャン	502	824	N/A	458
中部小計		4,380	1,233	2,550	8,887
15	ビエンホア	1,038	2,196	4,000	25,871
16	ホーチミン	6,740*	3,249	5,425	45,293
17	ファンティエト	480	1,184	1,977	3,541
18	ブンタウ	561	1,336	N/A	27,089
19	カントー	841*	1,265	3,220	618
20	ロンズエン	664	1,025	1,930	182
南部小計		9,286	2,933	4,790	102,594

* : 都市部のみの人口

資料 : GSO

3. 地方経済：各省概要



No	都市	人口	特徴	注力産業
1	ダナン	110万	・ 観光地としての魅力、インフラ（特に道路）が発達	観光業、IT・バイオ
2	ハイフォン	200万	・ ハイフォン港、ラックフェン港を有する北のゲートウェイ、工業団地の集積地	工業化（自動車、工業団地）
3	クアンニン	125万	・ 観光資源（ハロン湾）、豊富な鉱物資源、石油の輸入拠点（クアンニン港）、中国との国境貿易	観光業、工業化
4	カントー	130万	・ メコンデルタ地域における地理的優位性、戦略的直轄市	農業・水産業
5	キエンザン	180万	・ カンボジアとの国境貿易、観光資源（フーコック島）、水産漁獲高がベトナム最大、農業（マンゴー、テンニンカ、米）	観光業、農業・水産業
6	グダラク	190万	・ 農業（高原）が発活	農業
7	フエ	115万	・ 観光地としての魅力（古都）	観光業、エネルギー、工業化
8	ラオカイ	70万	・ 鉱物資源が豊富、中国国境との貿易が活発	観光業、鉱業
9	ソクチャン	130万	・ 農業資源が豊富、水産資源が豊富、観光業（メコンデルタ特有の魅力）	農業・水産業、工業化
10	ニントゥアン	60万	・ 面積が広く、ほぼ沿岸部で人口は少ない（発電所向けの立地）	観光業、農業、エネルギー
11	ビントゥアン	125万	・ 日照時間が長く、風が強いため再生可能エネルギー開発に適する、水産業にも適した立地	水産業、エネルギー
12	バクリユウ	90万	・ 農水産業、とりわけエビの養殖に強み	水産業
13	ライチャウ	45万	・ 資源が豊富で、農業がメイン	観光業、農業
14	ビンディン	150万	・ 観光地（ビーチリゾート）としての魅力、強く長い日照環境	観光業、エネルギー
15	カマウ	120万	・ 農業・漁業が産業の中心、インフラ整備がカギ	観光業、農業・水産業

3. 地方経済：成長の源泉

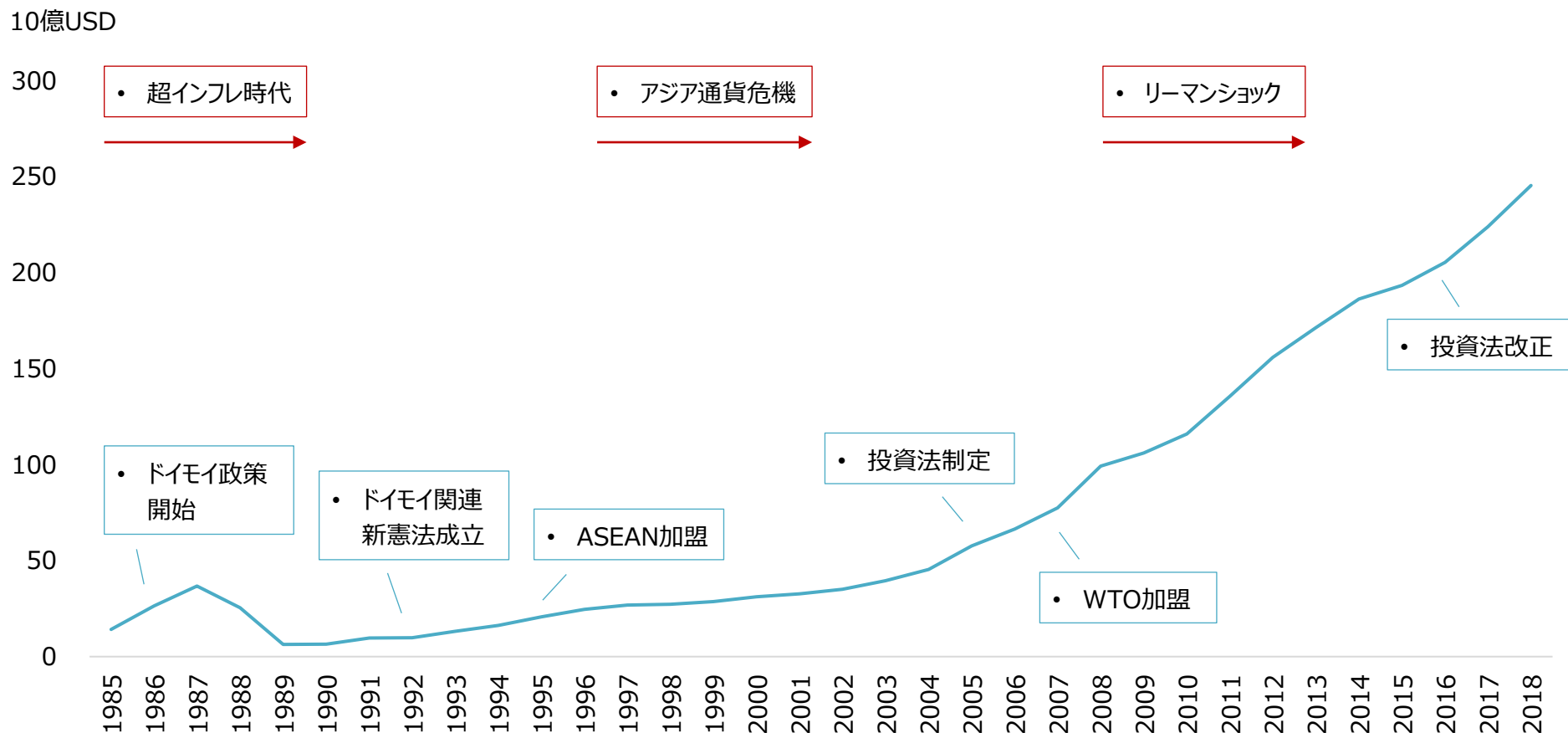
ベトナム地方都市発展における「7つのキーワード」

<ul style="list-style-type: none"> 外貨収入の「ベース」であり、GDP引上げに寄与 この有無が、現時点の豊かな省と、そうでない省の差 	観光業	<ul style="list-style-type: none"> 多くの省にとって、外貨獲得の基本手段 一方で、ダナン、ニャチャンなどの世界的観光地は、既に地位を確立しており、他都市の対抗は難しいため、各省は資源を活用し、「エコ」、「メディカル」などの付加価値（高度化）を訴求することで観光客を誘致
	マスタープラン	<ul style="list-style-type: none"> ダナン、クアンニンなどの外資誘致を達成している省は、外部コンサルティング会社を起用してマスタープラン（目標・注力産業）を策定し、戦略に基づいた成長を完遂
<ul style="list-style-type: none"> いかなる省にも既に一定程度存在する産業 いかに「高度化」するかが重要 	農産品加工業	<ul style="list-style-type: none"> 経済水準の高い省ほど、「1次産品の輸出」ではなく、「加工品」を輸出することで、付加価値を高める また、港を中心としたインフラ整備も、輸出拡大を左右する大きなポイント
	水産品加工業	<ul style="list-style-type: none"> 農産品と同様、水産加工品の輸出拡大が重要だが、その一方で、経済水準の高い省、大都市近郊の省では、国内流通品の質向上に向けた、「コールドチェーン整備」にも着目
<ul style="list-style-type: none"> 立地特性などの内部環境を踏まえ、「際立った産業」として各省に特徴を与えるもの 	Renewable Energy	<ul style="list-style-type: none"> 人口が少なく、経済水準が高くない（＝内需に限界のある）省では、発電事業を推進する省も多い 特に近年は、Renewable Energyへの注目度が高く、沿岸部地域では風力発電、南部の日照時間の長い省では太陽光発電など、自省の特徴に合わせて推進
	IT・バイオ	<ul style="list-style-type: none"> 1人当たりGDPが高く、既に外貨獲得手段の基盤を有する省は、特筆して産業付加価値の高い当該業種の育成に取組む「余力」を有する
	重・軽工業（工業化）	<ul style="list-style-type: none"> 特に他国との国境付近では、原料輸入→加工→完成品輸出のサプライチェーンの一翼を担う 一方で、多くの省では軽工業（繊維、製靴など）を対象とし、重工業（電気、電子など）の誘致は、一定程度の内需が見込まれる大都市近郊の省の大規模工業団地に限定されている状況

4. 不変なもの：驚異的な経済成長

リーマンショック後は安定成長に移行。今後の課題は、工業化、基幹産業の育成。外国投資、国内企業のリンケージ強化

ベトナムの名目GDP



4. 不変なもの：強み・課題

ベトナム	日本
	
強み (3I)	強み (HOME)
<ul style="list-style-type: none"> • Intellect : 知恵 • Independence : 独立・自立 • Identity : 独自性 	<ul style="list-style-type: none"> • Harmony : 協調性 (Hospitality : おもてなし) • Organized : 組織力 • Modesty : 謙虚 • Elaborate : 入念
課題 (3C)	課題 (PIAS)
<ul style="list-style-type: none"> • Commitment : 約束 • Communication : 情報交換 • Compliance : 規範順守 	<ul style="list-style-type: none"> • P : Passive : 受身の体勢 • I : Inner : 内向志向 • A : Aging : 高齢化社会 • S : Slow : 意思決定の遅さ